



かぞ 市議会だより

発行日／令和元年12月1日

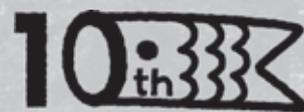
発行／加須市議会

〒347-8501 加須市三俣二丁目1番地1

TEL 0480 (62) 1111(代)

<https://www.city.kazo.lg.jp/>

◎第42号◎



加須市合併10周年



加須市合併10周年記念
2019年度特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会
(加須市民運動公園において)

12月定例会から本会議の
インターネット中継を
開始しました！

目次

第2回定例会のあらまし… P 2～3
委員会の審議内容…………… P 6～7
議案に対する討論…………… P 9
議会活動等…………… P 15

議案に対する質疑…………… P 4～5
議案の審議結果…………… P 8～9
市政に対する一般質問……… P 10～14
議員活動紹介…………… P 16

市議会に関する情報は、ホームページをご覧ください。

加須市 議会

検索



第2回 定例会の あらまし

令和元年第2回定例会は、9月2日から10月2日までの31日間の会期で開催しました。

今期定例会におきましては、平成30年度加須市一般会計決算をはじめとした市長提出議案26件、議員修正案1件を審査し、14件を原案可決、2件を原案可決及び認定、10件を認定、修正案1件を否決としました。
なお、詳細につきましては、8ページ及び9ページをご覧ください。

平成30年度 加須市一般会計 決算額	歳入	425億2,012万円 (前年度比0.1%減)
	歳出	383億4,545万円 (前年度比0.8%減)
	差引	41億7,467万円

平成30年度一般会計決算等認定

主な歳入	区分	歳入額	構成比
	市税	155億798万円 (137,039円)	36.5%
	地方交付税	57億1,415万円 (50,494円)	13.4%
	国庫支出金	54億378万円 (47,751円)	12.7%
	繰越金	39億329万円 (34,492円)	9.2%
	市債	29億1,354万円 (25,746円)	6.9%
	県支出金	23億3,251万円 (20,612円)	5.5%
	地方消費税交付金	20億1,293万円 (17,788円)	4.7%

一般会計の 使いみち (歳出)	民生費	教育費	総務費
			
	150億4,379万円 (132,937円)	48億3,407万円 (42,717円)	47億9,849万円 (42,403円)
	公債費	衛生費	土木費
			
	37億1,506万円 (32,829円)	36億1,794万円 (31,970円)	25億1,903万円 (22,260円)
	消防費	農林水産業費	その他
			
	16億693万円 (14,200円)	13億8,462万円 (12,235円)	8億2,552万円 (7,294円) (商工費・議会費など)

()内の数字は、市民1人当たりの金額です。H31.3.31現在 住民基本台帳人口113,165人
※各数値は単位未満四捨五入のため、合計額などが整合しない場合があります。

平成30年度特別会計・企業会計決算額一覧表

会 計 名			歳出決算額	会 計 名			歳出決算額
住宅新築資金等貸付事業			34万円	国民健康保険事業			124億9,702万円
国民健康保険直営診療所			8,546万円	後期高齢者医療			10億7,044万円
介護保険事業			83億 24万円	農業集落排水事業			7億 574万円
野中土地区画整理事業			3億1,530万円	栗橋駅西(大利根地区)土地区画整理事業			2,973万円
河野博士育英事業			746万円				
水道事業	収益的収支	収入	28億7,569万円	下水道事業	収益的収支	収入	17億2,640万円
		支出	24億9,656万円			支出	16億4,621万円
	資本的収支	収入	7億3,585万円		資本的収支	収入	6億1,478万円
		支出	16億2,189万円			支出	12億9,270万円

※単位未満は、四捨五入です。

※企業会計は、経営活動に伴い発生する収益的収支と、将来の経営活動のために行う借入れや施設建設などの資本的収支に区分されます。また、不足額については、内部留保資金(減価償却費など実際にお金の支出がない費用計上によって生じた資金や利益剰余金)で補っています。

主な議案の一部を紹介いたします。

令和元年度 一般会計補正予算(第3号)

・就学前子ども教育・保育認定事業(2864万7千円)

令和元年10月から開始する幼児教育・保育の無償化の実施による認定業務・支払い業務等に要する経費です。

・防犯施設維持管理事業
(1198万2千円)

騎西地域の防犯灯はLEDランプ販売の初期に設置されたものであり、照度が低いことや劣化による故障がみられることから、本年度から3年かけて交換等を進めるものです。

・通学路安全対策事業
(1448万円)

児童生徒の通学路の安全対策に要する経費を増額するものです。



条 例

◇加須市印鑑条例の一部を改正する条例

住民基本台帳の記載事項に旧氏に加えられたため、希望する者に係る印鑑登録原票及び印鑑登録証明書に旧氏を記載するなど所要の改正を行うものです。



◇加須市小学校就学前子ども教育・保育の認定に関する条例の一部を改正する条例

新たに子育てのための施設等利用給付に係る小学校就学前子ども区分の認定に関する基準を定めるものです。

◇加須市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

特定教育・保育施設が対象となる保護者から食事の

提供に要する費用を徴収することができるようにするとともに、規定の整備をするものです。

◇加須市小学校就学前子ども教育・保育に係る保育料等に関する条例の一部を改正する条例

幼稚園、保育所及び認定こども園を利用する3歳以上児に対する教育及び保育の提供に係る保育料を無料とするとともに、規定の整備をするものです。



工事請負契約の変更

平成31年1月23日に議決した幼稚園及び小中学校普通教室等空調設備整備工事について、契約内容の一部を変更するものです。

・請負金額(税込)

変更前

16億9560万円

変更後

17億4384万3600円

私たちが慎重に チェック

可決された 主な議案と 質疑

加須市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

議員 幼児教育・保育の無償化の新制度における給食費について伺います。

こども局長 幼稚園につ

いては、これまでと同じ金額で変更ありません。公立保育所及び私立保育園は、2歳児クラスまでの児童は引き続き保育料に含まれているため徴収しませんが、3歳児クラス以上の児童は、これまで実費相当額を徴収していた主食費のほか、保育料に含まれている副食費についても実費相当額を保護者が負担することになります。



給食費等の新旧一覧表

		これまで(従前)	これから(10月以降)
幼稚園	公立	給食費(主食費、副食費含む) 加須地域 月額3,000円 騎西地域 月額3,100円 北川辺地域 月額3,400円	これまでと同じ
	私立	各園で相当額を徴収	これまでと同じ
保育所(園)	公立	主食費 月額500円 副食費 保育料に含まれる	主食費 月額 500円 副食費 月額4,500円
	私立	主食費 各園で相当額を徴収 副食費 保育料に含まれる	主食費、副食費 各園で相当額を徴収

- 1号認定…満3歳以上の小学校就学前子どもであって、幼稚園、認定こども園の幼稚園部分に通う子ども
- 2号認定…満3歳以上の小学校就学前子どもであって、保育所(園)、認定こども園の保育園部分に通う子ども
- 多子世帯…子どもが3人以上いる世帯

議員 公立保育所における副食費の保護者負担額の設定根拠について伺います。

こども局長 昼食時のお

かず代と飲み物代を公立幼稚園と同額の月額3100円に、さらにおやつ代月額1400円を上乗せし、月額4500円と設定いたしました。

議員 幼児教育・保育の無償化における経済的支援について伺います。

こども局長 低所得者に

対する支援として、幼稚園、認定こども園の幼稚園部分を利用する1号認定の子どもで、市町村民税所得割合算額が7万7101円未満世帯の

子どもと、保育所の3歳児から5歳児クラスを利用する2号認定の子どもで、市町村民税所得割合算額が5万7700円未満の世帯の子どもについては、副食費を免除することとしております。

また、多子世帯に対する支援として、世帯の中で小学校3年生以下の子どものうち、第3子以降の1号認定の子どもと、世帯の中で小学校就学前の子どものうち、第3子以降の2号認定の子どもについて、副食費を免除することとしております。

さらに本市では、多子世帯の独自支援策として、2号認定の子どもについても小学校3年生以下の子どものうち、第3子以降の子どもの副食費については、公立、私立にかかわらず月額4500円を上限に補助することとしております。

令和元年度一般会計 補正予算（第3号）

《公立幼稚園施設整備事業》

議員 樋遣川幼稚園及び大越幼稚園の耐震補強の事業完了までのスケジュールについてお伺いします。

こども局長 設計をもとに3月補正に工事費等の経費を提案し、2園同時に夏休みを中心に工事を実施する予定です。

議員 公立幼稚園統廃合についての考え、及び進め方についてお伺いします。

こども局長 子どもたちのより良い教育環境の整備の観点から、加須市立幼稚園学級編制基準の1学年1学級の園児数の下限5人をもとに公立幼稚園の統廃合基準の対象、時期などをより明確にし、市内全域における統廃合を現在進めている加

須市子ども・子育て支援計画の見直しの中で検討してまいりたいと考えております。

また、検討後の統廃合基準については、入園案内やホームページ等を通じて入園前から情報提供を行い、市民の皆様との合意形成に努めてまいります。

《中学校施設整備事業》

議員 騎西中学校の太陽光発電設備パソコン交換工事の内容についてお伺いします。

生涯学習部長 騎西中学校の校舎屋上に設置した太陽光発電設備の発電電力量のデータ管理を行う太陽光発電計測システムソフトや専用のパソコン、発電電力量をパネルボードに表示するための信号変換装置等を交換する工事です。



加須市会計年度任用職員 の給与及び費用弁償に関する条例

議員 会計年度任用職員は公務上の義務、規律、人事評価などが適用され、地方公務員となりますが、財産の差し押さえ、許認可等の権力的業務についてお伺いします。

総務部長 権力的業務については、任期の定めのない常勤職員が中心に担っていくものと考えております。

議員 会計年度任用職員の導入で、本市の財政負担は増加します。必要な財源確保を国に求めていくことについてお伺いします。

市長 財政負担については、国への要望はいたしますが、市としては、処遇改善に費用が必要な時には、市が責任を持って、手当すべきと考えており、国から支援がいただけるのであれば、ありがたいと考えております。

（仮称）埼玉県済生会加須病院 建設予定地を見学

9月18日（水）、（仮称）埼玉県済生会加須病院建設予定地の工事現場を見学し、土地造成・関連工事の進捗状況について、予定どおり順調に進んでいるとの説明を受けました。



第2回定例会 会期日程

- 9. 2(月) 本会議
- 9. 9(月) 本会議（議案質疑）
- 9. 10(火) 本会議（一般質問）
- 9. 11(水) 本会議（一般質問）
- 9. 12(木) 本会議（一般質問）
- 9. 13(金) 本会議（一般質問）
- 9. 17(火) 常任委員会
- 9. 18(水) 本会議
- 9. 19(木) 決算特別委員会
- 9. 20(金) 決算特別委員会
- 9. 24(火) 決算特別委員会
- 9. 25(水) 決算特別委員会
- 9. 27(金) 決算特別委員会
- 10. 2(水) 本会議

委員会の審議内容

各常任委員会は、9月17日、付託された特別会計決算等の16議案（総務常任委員会3議案、民生教育常任委員会8議案、産業建設常任委員会5議案）について審査を行いました。

また、決算特別委員会（各会派から選出された委員で構成）は、9月19日、20日、24日、25日及び27日の5日間で一般会計決算認定について慎重に審査を行いました。

なお、委員会の主な審査内容は次のとおりです。

総務常任委員会

2 議案 可決
1 議案 認定

委員長 新井好一
副委員長 小坂 裕
委員 山下雄希
池田裕美子
及川和子
大内清心
中島正和
小勝裕真
竹内政雄
川島一省

《一般会計補正予算（第3号）》

・加須クリーンセンター ごみ処理事業

問 焼却施設を修繕する理由は。

答 煤を掻き出すコンベアの部品が破損しかけており、破損するとゴミを燃やすことができなくなるため、修繕を行うものです。

・住宅改修等需要促進事業

問 助成の利用者の見込みは。

答 当初予算では278件を見込んでいたが、今回の補正では380件を見込んでいます。

・幹線道路新設改良事業

問 市道277号線（戸室地内）の整備の進捗状況は。

答 平成25年から工事を実施しており、今回の補正予算による整備で全線開通する予定です。

・小学校施設整備事業

問 ブロック塀安全対策工事の内容は。

答 外見上、建築基準法施行令に適合していない危険なブロックは、平成30年9月補正予算で改修済です。今回、小学校9校において、外見上は建築基準法施行令に適合しているが、設置年月日が確認できず、内部の鉄筋の状況が不明であるため、ブロック塀を撤去し、メッシュフェンスを設置します。

《住宅新築資金等貸付事業 決算認定》

問 年間の貸付利率は。

答 貸付年度によって異なるが、2%から3.5%の利率となっています。



民生教育常任委員会

3 議案 可決
5 議案 認定

委員長 齋藤理史
副委員長 森本寿子
委員 吉田健一
野中芳子
小林利一
佐伯由恵
柿沼秀雄
池田年美
原田 悟

《後期高齢者医療決算認定》

問 窓口負担割合3割の方のうち、申請することにより1割負担となる方への対応は。

答 対象となる方に申請の案内を送付しています。



《介護保険事業決算認定》

問 新規事業の在宅医療・介護連携推進事業の状況は。

答 平成30年度から北埼玉医師会に委託し実施しており、医師、歯科医師、薬剤師、ケアマネジャー等の多職種が連携しています。平成30年度の相談件数は225件で、連携してケアを行った患者

は29人です。医療と介護の両方が必要な高齢者にとって、安心して在宅で暮らすために必要な事業です。

《加須市小学校就学前子ども教育・保育に係る保育料等に関する条例の一部を改正する条例》

問 今回の改正により、無償となる区分ごとの保育料の人数と金額は。

答 令和元年10月以降の6箇月分として、公立幼稚園が720人で2196万9千円、公立及び私立保育所が1096人で1億293万7千円、認定こども園の幼稚園部分として187人で1307万4千円、同じく保育所部分として127人で1396万3200円、私立幼稚園が200人で3084万円です。

産業建設常任委員会

5 議案 認定等

委員長 田中良夫
副委員長 中條恵子
委員 松本正行 肇
栗原徳蔵
小坂英子
関口孝夫 義
鎌田勝義 子
金子正則

《農業集落排水事業決算認定》

問 新規加入件数と総加入戸数は。

答 39戸の新規加入があり、総加入戸数は3092戸です。

《加須都市計画事業栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業決算認定》

問 事業費の内訳は。

答 国庫補助金が7億9283万円、市費が7億8459万円、地方債として地方特定道路Aが1億7600万円、同じく地方特定道路Bが3億2600万円、市単独費が35億2312万1千円、保留地処分金が8億1892万3千円、その他の費用が200万円となり、合計で64億2346万4千円です。

《加須都市計画事業野中土地区画整理事業決算認定》

問 保留地を分譲しているが、事業開始当時から現在の1㎡当たりの単価の差額は。

答 平成13年度当初の1㎡当たりの単価は、8万4600円であったが、平成30年5月時点の1㎡当たりの単価は、3万7800円であり、4万6800円の減となっております。

《水道事業会計利益の処分及び決算認定》

問 石綿セメント管布設替工事を毎年行っているが、残延長はどのくらいあるのか。

答 平成30年度末の残存率は28・8%、残存延長は67・3kmです。

決算特別委員会

1 議案 認定

委員長 柿沼秀雄
副委員長 小坂裕
委員 徳蔵悟子
小坂芳史
原田理史
野中利一
齋藤年美
小林池

《一般会計決算認定》

問 固定資産税の評価替えによる土地の状況は。

答 標準宅地475地点のうち20地点が上昇し、133地点が横ばい、322地点が下落しています。

問 居住U・Jタイン促進事業に関し、人口増の効果は。

答 平成30年度は56世帯、154人の定住が図られており、事業を始めた平成28年度からの3年間では173世帯、521人のU・Jタイン居住が促進されました。

問 であいサポート支援事業に関し、平成30年度における活動の成果は。

答 結婚した方が9組であり、そのうち夫婦共に会員で加須市に居住した方が1組でした。

問 済生会誘致事業に関し、済生会病院との協議の状況は。

答 平成30年4月に新病院を建設する上での課題を協議するため、済生会新病院の建設に係る連絡調整会議を設置し、本市からは市長、副市長をはじめ関係部長等が、また、病院からは、院長、副院長をはじめ幹部職員が出席し、毎月定期的に協議を行っており、現時点で17回の会議を開催しています。

問 地域防災計画管理事業に関し、加須市地域防災計画の改訂内容は。

答 水害時の広域避難の重点を置いた垂直避難の見直し、タイムラインの見直し及び避難情報発令水位の見直しを行ったほか、災害廃棄物処理計画との整合を図りました。

【現地調査実施箇所】

- ・ 幹線道路新設改良事業（市道145号線道路改良工事（外田ヶ谷地内））
- ・ コミュニティセンター改修事業（南篠崎コミュニティセンター）
- ・ 加須市ライスセンター管理運営事業（加須市ライスセンター）
- ・ 中学校施設整備事業（加須市立大利根中学校）
- ・ 小学校施設整備事業（加須市立種足小学校）
- ・ ほ場等整備推進事業（埼玉型ほ場整備事業加須方式による基盤整備（戸崎地区））



決算特別委員会現地調査
（加須市ライスセンター）

令和元年第2回定例会 議案の審議結果

●全議員が賛成した議案

	議案番号	議案名
市長提出議案	20	専決処分承認を求めることについて
	22	令和元年度加須市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
	23	令和元年度加須市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
	24	加須市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
	26	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
	27	加須市手数料条例の一部を改正する条例
	28	加須市印鑑条例の一部を改正する条例
	29	加須市小学校就学前子どもの教育・保育の認定に関する条例の一部を改正する条例
	31	加須市小学校就学前子どもの教育・保育に係る保育料等に関する条例の一部を改正する条例
	32	加須市下水道条例及び加須市水道事業給水条例の一部を改正する条例
	33	工事請負契約の変更について

●賛否が分かれた議案（欠席を含む）

○…賛成、●…反対、欠…欠席 ※会派別議席番号順

議案番号	議案名	審議結果	創政会			新政会				令和会			公明党		日本共産党		改革フォーラム												
			小林利一	竹内政雄	新井好一	小坂正行	松本良夫	田中健一	吉田雄希	山下正則	金子理史	齋藤裕真	柿沼秀雄	栗原肇	中島正和	原田孝夫	関口一省	川島恵子	中條清心	大内寿子	森田年美	池田由恵	佐川和子	及川英子	松本徳蔵	小坂裕美子	池田芳子	野中勝義	鎌田勝義
21	令和元年度加須市一般会計補正予算（第3号）	可決	○	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	加須市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	可決	○	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
30	加須市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
34	平成30年度加須市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
35	平成30年度加須市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
36	平成30年度加須市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
37	平成30年度加須市国民健康保険直営診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
38	平成30年度加須市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
39	平成30年度加須市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

ここが聞きたい!

市政に対する一般質問

議員は、定例会において市政全般に対する質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。今定例会では、15人の議員が一般質問を行いました。質問の中から、主なものの要旨を質問者順に11～14ページへ掲載しました。なお、詳細は会議録やホームページでもご覧いただくことができます。

森本寿子議員 (公明党)

- みんなで高める地域防災力について
- 性的少数者への理解と支援について
- 日常生活用具給付等事業について
- 休日業務について

池田年美議員 (公明党)

- プログラミング教育について
- 教員の働き方改革について
- 加須西中学校校庭整備について

大内清心議員 (公明党)

- 学校教育における更なる充実について
- 投票率向上に向けた取組について
- マイナンバーカード普及促進について
- 図書館利用サービスの向上について
- 子どもの命を守る安全対策について

佐伯由恵議員 (日本共産党)

- 行き届いた教育、教育施設の整備及び安全について

騎西城によるまちおこしについて

- 公立幼稚園の送迎バスの運行について

松本英子議員 (日本共産党)

- 就学前の子育て支援について

及川和子議員 (日本共産党)

- 犠牲者ゼロの地域防災対策について
- 市民の声を生かした、コミュニティバスの運行改善について

原田悟議員 (令和会)

- 加須市の「街路樹マネジメント」策定について
- 加須市民の「地域防災力」を高めることについて
- 加須市内工業団地の連携状況について

新井好一議員 (創政会)

- 渡良瀬遊水地ラムサール条約湿地登録7周年をむかえ
- 関東どまんなかサミット会議について

齋藤理史議員 (新政会)

- 私立保育園の監査のあり方について
- 保育園での幼児虐待について

小林利一議員 (創政会)

- 十王堀排水路の現況と排水路の改修計画について
- 加須市農業の現状と課題について

川島一省議員 (令和会)

- がん検診率を向上するための施策と取組について
- 小中学校における災害発生時の対応について
- 障がい者に安心安全なユニバーサルデザインについて

池田裕美子議員 (改革フォーラム)

- 加須市役所職員の昇級試験受験・育児や介護などのための休暇取得について
- 市立幼稚園・小学校・中学校における環境教育・主権者教育について
- 加須市内での婦人科検診について

小坂徳蔵議員 (日本共産党)

- 人口減少抑制のまちづくりについて
- 高齢化社会を元気に、健康寿命の延伸について
- マイナンバーカードについて
- 最低賃金について

野中芳子議員 (改革フォーラム)

- ごみ処理事業について
- コミュニティバス運行事業について
- 成人の引きこもり支援策について

中條恵子議員 (公明党)

- 地域の活性化を図る新しいまちづくりのために
- 高齢運転者の事故防止支援策について
- 小中学校体育館のトイレ改修について



性的少数者への理解と支援を

森本 寿子 議員

森本 文部科学省は性同一性障害の児童・生徒への支援事例として、職員トイレや多目的トイレの利用を認めると挙げていますが、多機能トイレの整備状況と今後の考え方についてお伺いします。

また、性別に関係なく、自由に制服を選べる制服の選択制導入についての考えをお伺いします。

総務部長 本市における多機能トイレの整備率は、平成30年度末現在、小・中学校63・3%、その他市民に日常利用されている公共施設46・2%です。引き続き、必要な方に利用していただける多機能トイレの整備を進めてまいります。

学校教育部長 制服を選択制にする場合、現在の制服の見直しなどの検討が必要です。子どもや保護者が相談できる窓口の設定が重要であると考え、各学校や教育センターでの教育相談の充実を図りつつ、制服の選択制導入について、情報収集してまいります。

加須西中学校周辺の生活環境の改善を

池田 年美 議員

池田 加須西中学校を囲むように生垣が植えられています。その影響で道路の道幅が狭くなり、冬は日が当たらないため、路面が凍り危険です。生垣をフェンスに変えることで、費用の節約と道路凍結の解消になると思います。また、周辺住民の方の生活環境改善のため、校庭の砂をほこりの立ちにくい砂に変えていただきたいと思いますが、考えをお伺いします。

生涯学習部長 加須西中学校周辺は、冬の強い北西の季節風により、砂が堆積した土地であり、砂ほこり対策は重要な課題です。生垣は校庭に砂ほこりが発生した場合に、近隣の住宅への砂ほこり飛散防止の役割を担ってきているものと認識しており、フェンスに変えることにつきましては、今後、冬の強風時の砂ほこりの状態を確認し、検証した上で、効果的な対策を総合的に検討してまいります。

教育相談サポートブック作成の考えは

大内 清心 議員

大内 小・中学校の不登校や暴力行為が増加しています。様々な問題や悩みは、早期発見、適切な相談体制の充実が解決への糸口になります。悩みを抱えて子育てを頑張っている保護者に寄り添い、解決するヒントになる、また、児童・生徒も活用できる必要な情報を、1冊に網羅する本市独自の「教育相談サポートブック」を作成いただきたいと思いますが、考えをお伺いします。

学校教育部長 公立小・中学校の子どもたちに、1学期と2学期に各1回、「加須市立教育センター教育相談のご案内」というパンフレットの配布、及び市報やホームページ等でも相談窓口の周知をしております。今後も当教育センターを中心に学校との連携を図り、いつでも相談できる教育相談体制の中で、様々な課題を解決していくことができるよう、教育相談の充実を図ってまいります。

部活動の改善と教員の長時間労働について

佐伯 由恵 議員

佐伯 教員の長時間労働は、子どもと触れ合えない、授業の準備時間が足りないなど、教育に悪影響を及ぼしています。多忙化の一番の要因は部活動です。市が策定した「加須市立中学校における部活動の方針」では平日1日、土・日曜日のうち1日の休養日を設けること、練習時間は平日2時間、休日3時間以内とあります。1学期の市内中学校の部活動の実施状況と教員の在校時間の状況をお伺いします。

学校教育部長 市立各中学校8校の部活動の平均活動時間は平日2時間13分、土・日曜日3時間37分でした。長時間にわたる部活動を実施している学校には、引き続き指導してまいります。

また、1学期末の職員在校時間、実態調査の結果、小学校11時間6分、中学校11時間57分、昨年度の小学校11時間42分、中学校12時間7分と比較し少しずつ成果が現れていると捉えております。

大越幼稚園の運営に ついての考えは

松本 英子 議員

松本 大越幼稚園と樋遣川幼稚園の耐震化未完了の問題で、両園を統合する問題が浮上しましたが、保護者や地域の要望等もあり、2園の耐震化が決まりました。大越幼稚園を残していたら、地域が元気になるために預かり保育や地域の方との交流、また、幼稚園の様子を知らせるなど、地域とのかかわりや絆を深める取り組みが求められると思いますが、考えをお伺いします。

市長 園児が減少していった場合、集団教育が大きな課題となります。今回の統合につきましては、園児が減少傾向にあることや、よりよい教育環境づくりの観点から、問題をそれぞれの地域に課題として投げかけさせていただきました。その結果、当面、両園とも存続し、耐震化する方向にさせていただきました。

犠牲者ゼロの地域防災 対策を

及川 和子 議員

及川 災害の激甚化により、ご近所の力で助け合う地域づくりが大切になっています。市の支援として、小さな単位でモデル地区を選定し、声掛けの進め方を示すほか、災害時要援護者登録や広域避難方法の説明会を細かく開催するなど、地域の人と一緒に、子どもたちが防災のことを学ぶことを進めていくことが必要だと思えますが、考えをお伺いします。

市長 大規模な災害が発生した場合、全ての方への支援は不可能であるため、「自分たちの地域は自分たちで守る」の考えのもと、平時からの訓練や研修等、市民の皆様が主体的な行動ができる体制づくりが重要であります。市として積極的に災害予防対策に取り組みとともに、各地域の自主防災組織を中心とした共助の強化につながる対策を進めてまいります。

街路樹マネジメントの 策定を

原田 悟 議員

原田 街路樹の維持管理について、樹形調整及び樹勢維持のため、剪定や薬剤散布を行っているとのことですが、この事業内容が市民に理解されていないと思います。植物を愛する人、安全を第一と考える人、それぞれに配慮した街路樹樹形調整マネジメントの策定は急務であり、街路樹の樹形管理、伐採、更新を含めた条例等、管理指針の制定が必要と思いますが、考えをお伺いします。

市長 市が管理すべき街路樹がある道路が増え、できるだけ早く統一的な管理をすべきと考えております。花崎北地区のケヤキ並木、川口地区の桜並木等、様々な意見も伺っております。街路樹の果たす役割、プラス面とマイナス面を十分認識した上で、地域の方との合意形成を図りながら、基準に則って対応してまいりたいと考えております。

渡良瀬遊水地来訪者の 更なる受入の考えは

新井 好一 議員

新井 渡良瀬遊水地への来訪者の受入は、4市2町が統一的に広域的な取組を行うことが大事であると考えます。例えば、自転車の貸し出しをお互いにシェアするシステムづくりや、ガイド体制を全体的に統一するシステムづくりも可能であると思いますが、考えをお伺いします。

環境安全部長 自転車の相互利用は、東エリアの小山町、野木町、古河市間と西エリアの栃木市、板倉町、加須市間のみで、東西エリア間では相互利用がされていません。また、ボランティアガイドは、東エリアの小山町と野木町でそれぞれが実施しており、西エリアでは共催によりボランティアガイドを養成しています。自転車の相互利用及びガイドの統一は、十分な協議が必要であるため、渡良瀬遊水地の利活用には有効な手法を、適切な時期に検討することが重要であると考えております。

私立保育園の臨時指導 監査の結果について

齋藤 理史 議員

齋藤 市内の私立保育園には、税金から補助金が交付されています。市はこれらの保育園に対し監査を行っていますが、このうち、情報提供に基づき実施した臨時指導監査で、不適切な行為や言葉があつた、評議員会を開催していない、土曜日保育の給食の提供をしていない等が認められたとのことでした。これまで地元地域では、「ちいき応援団」がこの園を変えようと行動してきましたが、市はこの問題をどう受け止めているのかお伺いします。

市長 本市の子育て支援、特に就学前の子育てについては、公立と私立、両方相まって、協働の力により成り立つという基本的な考え方に立っています。ご指摘の件は非常に残念であり、できるだけ早くこれを改善し、本来に望まれる保育園として、適切に運営されることを心から期待しているところであります。

十王堀排水路と中川の 改修工事の現況は

小林 利一 議員

小林 大利根地域において十王堀排水路を含め、自治協力団体や住民から排水路整備の要望等が出ていると思います。冠水被害の解消に向け予算を計上し、護岸修繕工事と水路しゅんせつ工事などを計画的に進めていただきたいと思いますが、改修工事の取組についての考えをお伺いします。

大利根総合支所長 一級河川中川へ排水する十王堀排水路を含む中川上流地域の湛水被害の解消には、幹線となる農業用水路と中川の一体的な改修が不可欠です。県による中川の約3・7kmの先行整備区間改修は大きく事業が進展しました。また、十王堀排水路を含む中川に排水する農業排水路の整備は、農林水産省による国営事業として事業計画を策定し、順次工事に着手すると伺っております。引き続き、国や県、関係自治体及び地域の皆様と連携し取り組んでまいります。

児童・生徒の 震災発生時の対応は

川島 一省 議員

川島 防災の日に三俣1区でハザードマップ説明会が開催されました。この地区に焦点を当てており、有意義な研修でした。大人を対象とした研修会は実施されていますが、子どもたちはどうなのかと心配する声があります。児童・生徒の震災が発生した場合の対応、家族との連絡や引き渡しについてお伺いします。

学校教育部長 教室にいる時には、机の下に身を隠し、教室以外にいる時には、物が落ちてきそうな場所から離れ身を低くし、揺れがおさまったら、校庭に避難するように指導しております。また登下校時は、塀などが倒れてこない所へ移動して身を守り、揺れがおさまったら、学校か自宅の近い方、または「子ども二〇番の家」に避難するように指導しております。また、災害発生時を想定した避難訓練や保護者への引き渡し訓練も実施しております。

済生会栗橋病院・健診 センターの移転は

池田 裕美子 議員

池田 前回の定例会において、「済生会栗橋病院には健診センターがあり、加須市に移転された後も引き継がれると伺っております」という答弁がありました。加須市への移転は決定されたのでしょうか。

また、現在の健診センターの間検診者数やスタッフ体制についてお伺いします。

健康医療部長 健診センターは（仮称）埼玉県済生会加須病院に引き継がれ移転してまいります。

平成30年度の健診センターにおける人間ドックやがん検診などの各種検診受診者の延べ検査件数は、2万3177件であり、このうち女性に対するがん検診は子宮頸がん検診が1391件、乳がん検診のうち、マンモグラフィ検査が1713件、乳腺超音波検査が109件で、医療スタッフにつきましては、20名体制で業務にあたっているとのことでした。

学校給食費の減額と子ども医療費拡充の考えは

小坂 徳蔵 議員

小坂 人口減少に歯止めをかけるため、我が議員団は学校給食費を第2子は半額に、第3子以降は全額無料に、また子ども医療費の無料化を高校卒業まで拡充するための財源をシミュレーションし、提案しています。これにより人口減少を抑制できると断言できます。ぜひ、実現に向けて検討していただきたいと思いますが、考えをお伺いします。

市長 市政運営の基本的な考え方として、財源とのバランスなど、常に総合的な判断が必要であり、特定の事業を行ったことによる他の行政サービスへの影響も考えて判断しなくてはなりません。これからさらに必要な部分、必要とする行政ニーズを踏まえながら、誤りのない市政運営に努め、住みよい加須市づくりに邁進してまいりたいと考えております。

コミュニティバス改善の考えは

野中 芳子 議員

野中 現在のコミュニティバスは不便であるという声をいただいています。デマンド型乗合タクシーの北・中・南というエリアを無くしての運行や、シャトルバスを加須駅または(仮称)埼玉県済生会加須病院を中心に騎西地域と大利根・北川辺地域へそれぞれ往復する等の改善を図ることへの考えをお伺いします。

総合政策部長 コミュニティバスの運行開始以来、利用者からの要望等については、運行経費のバランスや地元タクシー事業者の営業等も考慮した上で、運行事業者と協議し、改善を図ってまいりました。運行の改善に当たっては、現行の運行ルールの範囲内で必要な見直しを随時検討し、実施しております。今後も要望等を踏まえ運行改善を続けてまいりる考えですが、現時点では、現行の運行形態を抜本的に変更することは考えておりません。

土地利用の方針についての考えは

中條 恵子 議員

中條 新しいまちづくりには、しっかりと将来を見据え、土地利用の方針を定めていく必要があります。その重要な要素が道路や産業団地、病院であり、次期加須市総合振興計画策定での重要なポイントです。本年度の市政についての話し合いは「元氣と活力ある加須市づくりを目指して」がテーマであり、意見等も反映されると思いますが、土地利用の方針についての考えをお伺いします。

総合政策部長 次期総合振興計画策定においては、県道の整備状況や新病院の立地等を見据えた新たなまちづくりを念頭に、本市の立地特性を活かした工業適地の確保と企業誘致の推進に向け、既存の産業団地に隣接する場所等を含む新たな候補地の検討と併せ、優良農地の保全・活用も図るなど、市全体の土地利用のバランスや各地域の現況等を踏まえ、検討してまいります。

市内企業訪問研修を実施

8月9日(金)、市議会では、市内に立地する企業の事業活動を理解するとともに地域経済の動向を把握するため、株式会社クワバラ・パンぷキン、株式会社キャストック、日本ワイパブレード株式会社において、企業訪問研修を実施しました。



日本ワイパブレード株式会社



株式会社キャストック



株式会社クワバラ・パンぷキン

加須市合併10周年記念 第3回加須市青少年未来議会を開催

8月20日(火)、本庁舎4階の議場において、青少年の提言や考えを市政に反映することを目的に市内公立中学校8校23名の中学生議員から、市政に対する提言をいただきました。



平成国際大学学生との意見交換会を開催

10月29日(火)、本庁舎4階全員協議会室において、各議員が市政及び市議会に対する若い世代の意見を議会活動に生かすことを目的として、学生との意見交換会を開催しました。



各常任委員会が行政視察を実施

市議会の各常任委員会では、所管事項について委員会の調査・研究活動の一環として、他の自治体で取り組まれている先進的な事例を視察しました。今後の市政運営に役立ててまいります。

総務常任委員会



日程 10月8日(火)～10日(木)

愛媛県 今治市 サイクルシティ構想・サイクリングでの観光振興について
西条市 総合6次産業都市について
松山市 松山城・坂の上の雲ミュージアムについて

民生教育常任委員会



日程 10月23日(水)～25日(金)

秋田県 大館市 ふるさとキャリア教育について
秋田市 エイジフレンドリーシティについて
大仙市 小中学校における学力向上への取組について

産業建設常任委員会



日程 10月15日(火)～17日(木)

北海道 苫小牧市 まちなか再生総合プロジェクトについて
室蘭市 西いぶり広域連合ごみ処理施設について
千歳市 防災学習交流センターそなえーるについて

議員活動紹介

—こんな事業に参加しました—



加須市総合防災訓練
8月31日(土) 大利根運動公園において



第27回「治水の日」継承式典
9月16日(祝・月) パストラルかぞ



加須市合併10周年記念
第7回渡良瀬遊水地まつり in KAZO
10月6日(日) 渡良瀬遊水地において



加須市戦没者追悼式
10月18日(金) パストラルかぞにおいて

編集後記

今年、首都圏を直撃した台風15号、19号が勢力を衰えずに上陸し、記録的な強風・豪雨をもたらした各地に甚大な被害が発生しました。本市においても避難指示が発令される中、様々な問題が指摘され、対応を考えさせられました。議会においても今回の教訓をもとに、しっかりとした防災対策を議論していきたいと思います。

さて、今期定例会では、平成30年度に執行された決算を慎重に審査した結果、承認されました。

令和元年度は、加須市合併10周年の年を迎え節目の年となります。新たな加須市を推進するため、市民の皆様が住み続けたい、快適で安全・安心なまちづくりに取り組んでまいります。

(編集副委員長 金子正則)

市議会だより編集委員会

委員長	小林利一	副委員長	金子正則
委員	池田裕美子	佐伯由恵	原田 悟
	吉田健一	池田年美	山下雄希

あなたも議会を傍聴しませんか。

議会の傍聴は、市政の方針等を知る良い機会です。

令和元年第3回定例会は、12月11日まで行われています。皆様の傍聴をお待ちしています。

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

